

小児発達障害の表出性言語障害 についての一症例



一般社団法人

東洋はり医学会関西

TOYO HARI MEDICAL ASSOCIATION KANSAI

榎本 寛

患者情報①

- **初診**：X 年 7 月 1 日
- **患者**：3 才 9 カ月 男児

患者情報②

主訴：発達性言語障害

言葉の発育が遅く、
2つ以上の単語をつなげて
文章で話すことが出来ない。

表出性言語障害

表出性言語障害

言葉の理解はあるが言葉を使う能力が年相応を下回る障害。

同年齢のほかの子どもに比べ言葉が遅く、短い言い回しや単語でしか話すことができない等の症状例がある。

患者情報③

現病歴

- ① 38週目で吸入分娩にて生まれる
- ② 出生体重は2,404g
- ③ 3才になるが単語しか話せない

患者情報④

④ 単語をつなげて話す語彙力がない

⑤ 欲求を単語で伝える

⑥ 不明瞭な言葉も多い

⑦ 周囲の問いかけへの反応が悪い

患者情報⑤

⑧保育所の友達との会話が成り立たない

⑨友達のリに入らない様子

⑩保育所では特別体制

⑪週1回児童デイにて言語聴覚士の療育を受ける

診察

望・聞・問・切

四診法を用いて

望診

- ① 落ち着きなく診台でもじっとできない
- ② 白目に青みがうかがえる
- ③ 目が合わない
- ④ 同じ行動を固執して繰り返す

聞診

- ① 「ママ」「好き」など
決まった単語を頻繁に言う
- ② 慌てる様な発声になる
- ③ 五声は「呼」

問診①

睡眠・・・

①夜の寝つきが悪い

②4つ上の兄と遊び、
興奮が収まらない様子

問診②

食欲・・・

①旺盛

②水分をよく摂る

問診③

便通・・・

毎日あり良好
たまに軟便

愁訴

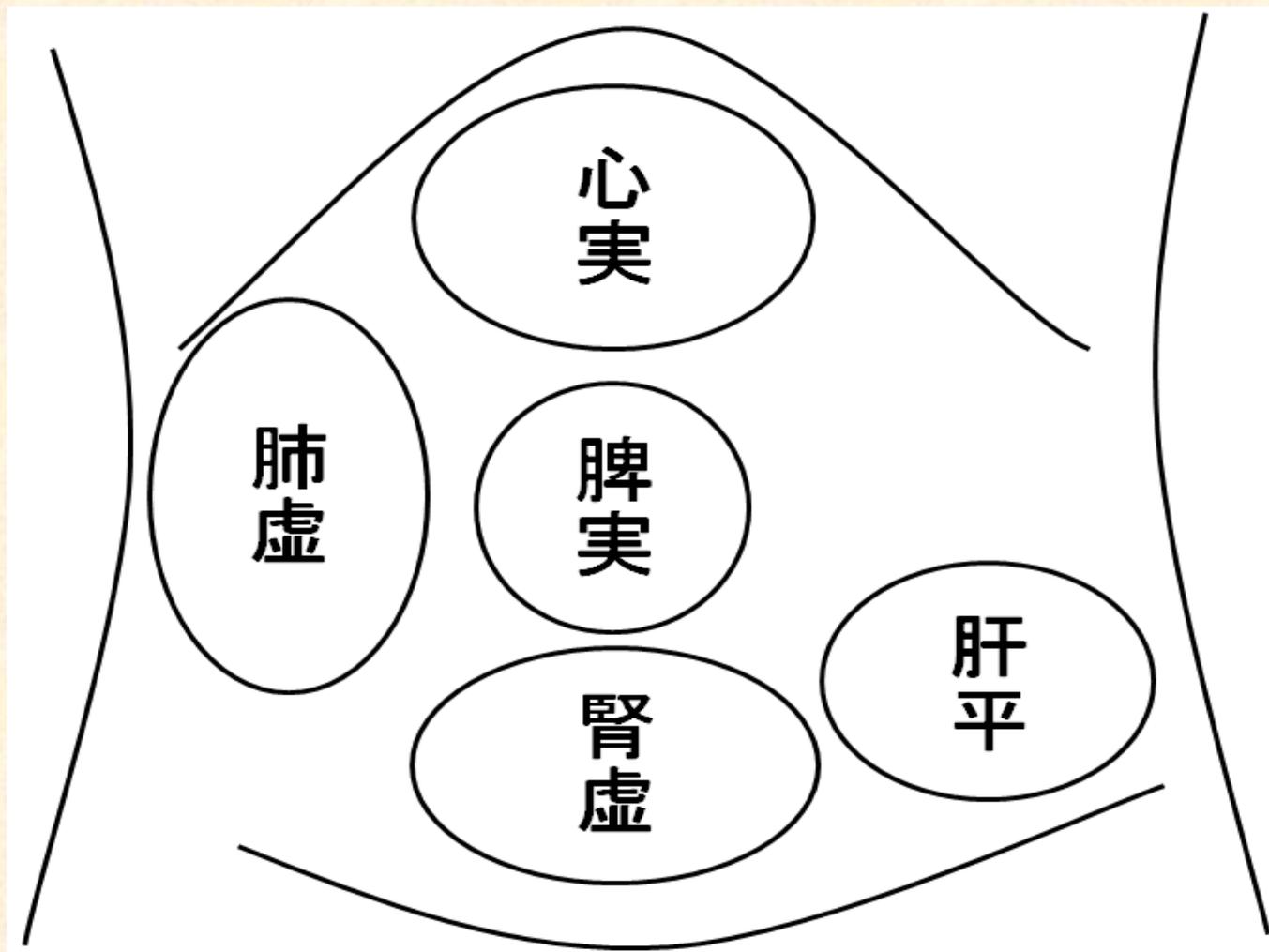
- ①熱性けいれんを起こしやすい
- ②歩行時に転倒をくり返す
- ③興奮しやすい
- ④パニック状態に近いほど
走り回るため電車に乗せられない

切診

頭～後頸部と
肩背部の張りが顕著

対して腰臀部～下腿が軟弱

經絡腹診



脉状診（六祖脉）

浮・数・虚

比較脉診

心 實	寸口	肺 虛
肝 平	關上	脾 實
腎 虛	尺中	命 門

病症の経絡的弁別①

①文章で話すことが出来ない

②落ち着きなく診療台でもじっと出来ない

③歩行時に転倒する

①②③は腎水経の変動

病症の経絡的弁別②

④夜の寝つきが良くない

⑤熱性けいれんを起こす

④⑤は**心火経の変動**

⑥興奮しやすい

⑥は**肝木経の変動**

証決定

以上のことを総合的に判断し、
腎虚証とした

適応側

切経と男児であることから
左側とした

予後の判定

子供の生命力を信じ
髓海を司る腎を中心に
経絡を調整すれば
機能を改善できる
と考え良とした

本治法

① 鋌鍼にて左復溜と左尺沢に補法

② さん鍼にて右豊隆と左光明に
瀉法

小里鋌鍼は55ミリ銅製、さん鍼は銀製を用いる

ざん鍼
銀製

小里鍬鍼
55ミリ銅製

よねやま式イチョウ鍼
銅製



標治法

全身に小児はり

よねやま式イチョウ鍼（銅製）を用いる

経過①

初診治療後、

①治療後、男児の様子が落ちつく

②鍼をして2・3日は
夜の寝つきがとても良い

経過②

1週間に1回の間隔で継続して
3カ月行うこと13診目、

- ①単語のバリエーションが増える
- ②うわごとの様な不明慮な言葉が減る
- ③周囲の問いかけへの反応が良くなる

本治法

難経 7 5 難の肺虚肝実証

- ①左復溜に補法
- ②左太衝にさん鍼にて瀉法

初診から1年後

週1回の間隔で治療を継続し・・・

① 「はい」「わかった」など
受け答えが出来るようになる

② 言葉の明瞭さが増し、2つの単語をつ
なげて話すことが可能となる

例：「ママこっち」「カーテンしめる」
「お水いれる」「お菓子いる」など

初診から1年後

週1回の間隔で治療を継続

③兄の友達の輪に入って遊べるようになり、言葉のキャッチボールに上達が見られようになる

④熱性けいれんが起こらなる

⑤転倒することがなくなる

初診から2年後

(患児5才)

①言葉を組み立て話すようになる

例：「ママこっちにおいで」「ここ座ってて」

②治療では術者の意図をくみ取り
指示に従ってくれるようになる

③治療の際、問いかけに
「うん」「ううん」と答えられる

初診から2年後

(患児5才)

**③興奮が自制できるようになったため、
電車での来院が可能になる**

**④医師から来年の進学について
通常学級を勧められる**

考察

- ①発育には腎が持つ
先天の精の働きが必要
- ②成長を司る肝が実しやすい

結語

改善に至った要因・・・

五臓を原とする主たる変動経絡の
虚実を弁え補瀉調整し

生命力の強化に努めたこと。

結語②

その結果・・・

患児の持つ正気ははつらつし、
発育を健やか、
改善への一助になったものと考える

ご清聴

ありがとうございました